

## 合流式下水道緊急改善事業 事業評価シート

評価実施年月：平成 28 年 3 月

1. 対象事業	東松山市 市野川処理区 合流式下水道緊急改善事業			
2. 実施主体名称	埼玉県 東松山市			
3. 計画期間	平成 16 年度～平成 25 年度			
4. 対象事業の進捗状況				
<p>下記の内容について、計画通りに実施した。</p> <p>①汚濁負荷の削減、公衆衛生上の安全確保 →市野川浄化センターの雨水沈澱池 1 池を雨水ろ過池へ転換、1 池を貯留池に転換、雨水吐室の堰高の変更、遮集増補管の設置</p> <p>②夾雑物の削減 雨水吐室へのスクリーン設備の設置</p>				
5. 目標達成状況と達成の見通し				
改善目標				
<p>①汚濁負荷の削減 (雨天時 BOD 除去率：72.3%)</p> <p>②公衆衛生上の安全確保 (雨水吐越流回数：25回/年)</p> <p>③夾雑物の削減 (スクリーン設備設置箇所：2箇所)</p>				
区 分	評価指標	対策前	改善目標	事後評価
①汚濁負荷の削減	雨天時 BOD 除去率	57.0%	72.3%	76.4%
②公衆衛生上の安全確保	年間越流回数	49 回/年	25 回/年	22 回/年
③夾雑物の削減	スクリーン設置箇所	0 箇所	2 箇所	2 箇所
6. 対象事業の整備効果の発現状況等				
<p>①汚濁負荷の削減 雨天時における汚濁負荷の削減率について、雨水沈澱池を雨水ろ過池へ転換し運用することにより改善目標を上回る削減状況となっている。</p> <p>②公衆衛生上の安全確保 雨水吐室の越流堰高の変更及び遮集増補管の布設により改善目標を上回る状況となっている。</p> <p>③夾雑物の削減 夾雑物削減のために雨水吐室にスクリーン設備を設置、現地目視確認等により夾雑物の捕捉を確認した。</p>				
7. 事業の効率化に関する取り組み状況				
<p>汚濁負荷の削減及び公衆衛生上の安全確保について、分流化や堰高の変更、貯留施設、簡易処理の高度化等を組み合わせて目標達成のための最適手法を比較的検討し、最終的にスクリーン施設設置、堰高変更、遮集増補管、簡易処理高度化による対応の組み合わせにより、汚濁負荷の削減と公衆衛生上の安全確保の二つの目標を効率的かつ同時に達成することができた。</p>				
8. 今後の方針				
<p>合流式下水道緊急改善事業として計画した対策が全て完了しており、当初設定した改善目標は達成された状況にある。</p> <p>したがって、今後は整備した施設の適切な運用並びに維持管理に努め、実際の降雨や汚濁負荷量の状況、放流回数の傾向等を考慮した上で、必要に応じて合流式下水道の更なる改善に努める予定である。</p>				